

第7編 青少年教育

第1章 青少年教育の推進

第1節 概 況

人間性豊かで創造性に富んだ、心身ともにたくましい青少年を育成するため、多様な体験活動やボランティア活動を促進するとともに、地域活動・団体活動や野外活動の一層の充実に努めた。

第2章 心豊かでたくましい青少年の育成

青少年の自立と社会参加を促進し、心豊かでたくましい青少年を育成するため、市町村や関係機関・団体と連携を図りながら次の事業を実施した。

第1節 自然とふれあう事業

1 青少年自然体験推進事業

(1) 親子体験活動

各青少年自然の家において、自然体験や生活体験等様々な体験活動を通して、子どもたちの感受性や自主性、社会性を育てるとともに、親子での協働作業や共通体験により、親子の「きずな」を深めた。

(内容)

野外炊事やテント泊等の生活体験活動、登山・星座観察等の自然体験活動 等

(2) 自然体験活動

各青少年自然の家の特色を生かした体験活動機会を提供することで、県民に自然体験活動の普及、啓発を図った。

(内容)

入所学校利用者説明会、オープンデー、野外炊事等による自然体験活動 等

(3) 宿泊自然体験活動

子どもたちの社会性や生きる力を育むため、異年齢集団を編成し、テント泊や野外炊事等の生活プログラム、動植物観察や冒険プログラム等、4日間の体験活動を実施した。

(会場・期日・参加者数)

会場	期日	参加者数
北毛青少年自然の家	8月4日～8月7日（3泊4日）	39名
妙義青少年自然の家	8月6日～8月9日（3泊4日）	40名
東毛青少年自然の家	8月4日～8月7日（3泊4日）	37名

第2節 地域における体験活動

1 青少年自立支援事業

様々な要因で社会（学校を含む）とうまく関われない青少年（児童生徒を含む）を対象に、様々な体験活動の場を提供し「社会性」を育む事業に取り組んだ。

(1) ぐんまいきいきチャレンジ

障害等、様々な要因で社会とうまく関われない青少年（児童生徒を含む）やその保護者を対象に、年間延べ30日間、自然体験や生活体験等、様々な体験活動を通して「社会性」を育むとともに、心の居場所づくりを図る事業を実施した。

ア 会場・実施回数・延べ参加者数

(ア) 北毛青少年自然の家

全3回開催（延べ3日間）参加者数31名 ※大雪のため1回中止

(イ) 妙義青少年自然の家

全6回開催（延べ13日間）参加者数333名

(ウ) 東毛青少年自然の家

全10回開催（延べ14日間）参加者数225名

イ 内容

クラフト製作、野外炊飯、野外ゲーム、登山、天体観察、キャンプファイヤー、保護者同士の情報交換会等

(2) 青少年自立・再学習支援事業（通称 G-SKY Plan）

（公財）群馬県青少年育成事業団に業務を委託し実施。不登校等、様々な悩みを抱える青少年を対象に、相談活動や体験活動等を通して自立を支援した。

相談等件数 1,242件、体験活動 32件

進路相談会 8月28日（日）、10月2日（日）、11月13日（日）

第3節 社会参加活動

1 青少年ボランティア活動支援

(1) 青少年ボランティア体験

主に夏休み期間中等、北毛・妙義・東毛青少年自然の家において高校生等がボランティア活動を体験する機会の提供に努めた。

参加者：489人（延べ人数）

(2) 青少年ボランティア養成

ボランティア活動に興味関心のある青少年などを対象に研修を行い、ボランティアとは何か、ボランティア活動を行う際の心構えや留意点等について、講義・演習等を通して学んだ。また、青少年自然の家で利用者への指導や指導補助を行ったり、施設整備や環境整備を行ったりするボランティアの養成も併せて実施した。

会場・期日・参加者数

会場	期日	参加者数
北毛青少年自然の家	① 6月25日～26日（1泊2日）	5名
	② 7月16日～17日（1泊2日）	12名
	③ 12月10日～11日（1泊2日）	7名
妙義青少年自然の家	6月25日～26日（1泊2日）	19名
東毛青少年自然の家	7月2日～3日（1泊2日）	23名

2 青少年団体の育成

青少年が集団の中で自己を確立し、地域社会の人々との連帯感を醸成する上で青少年団体が果たす役割は大きい。また、青少年団体が各種の活動を通じて、青少年に社会生活に必要な規範やルールを身に付けさせるための多様な経験の機会を提供することは、大変有意義であることから、全県的な組織を持つ青少年団体が行う事業に対して支援を行った。

（公社）群馬県子ども会育成連合会ほか2団体への事業費補助金 総額1,500千円

第3章 青少年健全育成施設の整備充実

第1節 概況

1 青少年教育施設の管理運営状況

青少年健全育成施設として施設を設置し、北毛・妙義・東毛青少年自然の家は地域機関として県直営で、青少年会館は指定管理者制度を導入して公益財団法人群馬県青少年育成事業団（旧 財団法人群馬県青少年会館）が指定管理者として管理運営を行っている。

2 各施設整備状況

平成28年度は、北毛・妙義青少年自然の家のPCB廃棄物処理、東毛青少年自然の家プレイホールの耐震設計、妙義・東毛青少年自然の家の寝具更新などを実施し、快適で利用しやすい施設整備に努めた。

3 各施設利用状況

平成28年度各施設利用状況

(単位：人)

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
青少年会館	3,835	3,172	4,457	3,363	5,087	3,338	5,878	4,502	3,943	3,192	2,853	4,011	47,631
北毛青少年自然の家	1,582	5,038	3,835	4,783	3,783	1,686	1,287	401	149	103	192	559	23,398
うちキャンプ場	282	2,248	1,138	1,365	1,241	646	308	0	0	0	0	0	7,228
妙義青少年自然の家	1,107	2,316	2,502	1,696	1,849	484	1,474	911	282	44	332	140	13,137
東毛青少年自然の家	2,435	4,825	5,671	3,532	2,118	1,293	4,346	1,976	794	936	549	1,388	29,863
合計	8,959	15,351	16,465	13,374	12,837	6,801	12,985	7,790	5,168	4,275	3,926	6,098	114,029
H27年度	7,432	13,839	15,228	13,500	12,585	7,358	13,670	10,028	4,625	3,584	4,115	5,969	111,933
前年度比	121%	111%	108%	99%	102%	92%	95%	78%	112%	119%	95%	102%	102%

年度別利用者実績

(単位：人)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
青少年会館	39,782	40,474	40,166	38,645	43,006	40,686	46,391	44,815	47,631
北毛青少年自然の家	21,607	18,777	23,615	23,763	16,946	25,026	23,374	22,838	23,398
妙義青少年自然の家	19,218	17,488	17,654	19,391	19,839	15,905	15,092	15,038	13,137
東毛青少年自然の家	29,213	27,109	26,946	31,732	30,405	30,419	29,313	29,242	29,863
計	109,820	103,848	108,381	113,531	110,196	112,036	114,170	111,933	114,029

第2節 青少年会館

1 概況

青少年会館は、昭和57年6月に青少年を主な対象とする都市型宿泊研修施設として開館した。施設は、前橋市の北部に位置し、敷島公園、県総合運動場、県総合スポーツセンター、群馬大学荒牧キャンパス等に囲まれた静かなたたずまいの中にある。平成18年4月より指定管理者制度が導入され、公益財団法人群馬県青少年育成事業団（旧 財団法人群馬県青少年会館）が管理・運営を行っている。

2 業務

県内唯一の青少年及び青少年団体活動の拠点施設としての特色を生かしながら、利用者の視点に立った施設運営を展開している。

また、青少年関係情報に関する情報発信機能の充実に努めるとともに、県・市町村教育委員会をはじめ、青少年団体、学校等との連携を図り、青少年及び成人を対象とした「青少年健全育成事業」「青少年自立・再学習支援事業」など、様々な事業を実施した。

平成28年度実施事業

	事業名	事業の概要
指定管理事業		
青少年ボランティアの養成・連携促進事業	1 ボランティア体験講習会 【実施日】 講習会：5月21日、22日 (6月～2月県内各地でボランティア実習) 修了式：2月18日	県子連や大学等と連携し、大学生等にボランティア活動の魅力を感じさせる機会を提供した。 【参加者】県内大学生、専門学校生等 延べ35人 【特記事項】県子ども会育成連合会と共催 群馬大学と連携
	2 青少年自立支援「ふれあい・ゆうあい交流フェスタ」 【実施日】 実行委員会：4回 事前学習：10月15日(土) 交流フェスタ：10月16日(日)	心のバリアフリーと温かな社会の実現を目指して、県内各地区で障害児等の学校外活動を行っている団体が、日頃の活動の成果を発表するとともに、中学生から一般までのボランティア、青少年団体及び一般来場者等との交流を深めた。 【参加者】一般県民、ボランティア(中学生以上) 延べ1,046人
青少年指導者養成事業	3 青少年指導者専門講座「わくわく指導者セミナー」 【実施日】2月4日(土)、5日(日)、11日(木)	青少年活動指導者としてのスキルアップを図るため、青少年理解についての講義や実習等を通して、青少年の指導者としての専門的な技能と知識を身に付けた。 【参加者】青少年活動指導者、青少年団体指導者等 延べ74人
	4 市町村青少年教育担当者研修会 【実施日】5月12日(木) 1月28日～29日	市町村における青少年を対象とした公民館事業等を一層充実させるため、市町村青少年教育担当者等を対象とした情報交換会や研修会(チラシの写真)を行った。 【参加者】公民館職員、市町村青少年教育担当者、団体関係者、幼・小・中・特別支援学校の教職員等 延べ52人
先導的モデル事業	5 親子ふれあい会館ロジ ①木工作・レクリエーション ②陶芸作・レクリエーション ③竹細工等・レクリエーション ④正月飾り・クリスマス飾り等 【実施日】 ①7月30日(土)～31日(日) ②8月20日(土)～21日(日) ③10月29日(土)～30日(日) ④12月3日(土)～4日(日)	小学生の親子を対象に、1泊2日の体験活動を通して子どもの創造性・社会性を育むとともに、親子のふれあいや親同士の交流を深めた。 【参加者】①～④ 小学生の親子 延べ247人
	6 親子で楽しむ体験教室 ①和菓子づくりと茶道体験 ②押し花 【実施日】①5月29日(日) ②7月20日(日)	親子で共同作業を行いながら、親子のふれあいと参加者同士の交流を深める機会を提供した。 【参加者】小学生の親子 ①39人 ②34人
	7 中学生交流ボランティア体験 【実施日】8月11日(木)、12日(金)	地域社会におけるボランティア活動を推進するため、県内の中学生に対し、お年寄りや園児との交流を通してボランティア体験を行った。 【参加者】中学生 延べ44人 【特記事項】近隣の高齢者福祉施設や保育園との連携で実施
情報提供事業	8 青少年関係情報提供システム「ぐんま青少年ねっと」 【実施日】通年	インターネット上で青少年活動に関する情報の収集・蓄積を行うとともに、ホームページやフェイスブック・メールマガジンによるタイムリーな情報の配信を行った。 【参加者】学習情報コーナー利用者 延べ617人
	9 ボランティア活動支援センター 【実施日】通年	青少年及び指導者のボランティア活動に関する情報収集と提供を行うとともに、ボランティア活動を希望する青少年及び指導者とそれを必要とする地域や団体・学校のコーディネートを行った。 【参加者】ボランティア参加者 8人

青少年団体の育成及び支援	10	青少年団体支援事業 【実施日】 通年	青少年会館を拠点として活動する青少年団体及び県内青少年活動推進団体との連携を強化し、各団体の活動の充実を図るための情報提供や指導・相談業務などを実施した。
	11	青少年団体連携・協力事業 ①「夏休み宿題お助け隊」 ②「親子もちつき体験」 【実施日】 ① 8月7日(日) ② 1月15日(日)	青少年団体と連携協力し、親子を対象とした体験活動を実施し、子どもの創造性や社会性を育むとともに親子での協働作業や共通体験により親子のきずなを深めた。 【参加者】 ①小学生 52人、保護者・スタッフ 60人 ②小学生 32人、保護者・スタッフ 65人
委託事業			
青少年自立・再学習支援	12	青少年自立・再学習支援事業 (G-SKY Plan) 【実施日】 通年 連携会議 6月9日(木) 進路相談会① 8月28日(日) ② 10月2日(日) ③ 11月13日(日)	不登校等、様々な悩みを抱える青少年及びそれらの保護者等を対象に、相談活動の実施や様々な体験活動を通じて青少年の自立を支援した。併せて、再学習のための各種情報を収集・提供した。 相談等件数1,242件、 体験活動 32件 【特記事項】 コーディネーター6人を配置し、関係機関や団体等の協力を得て、体験活動ができる場を提供するとともに、相談に応じることができた。

第3節 北毛青少年自然の家

1 概況

北毛青少年自然の家は、昭和43年4月、県下4番目の青年の家として設置され、青年の家と少年自然の家の機能を併せ持つ青少年健全育成施設として「北毛青年の家」の名称で運営してきた。

施設は、子持山・小野子山の鞍部に位置する標高700mの高原にあって、約15haの広大な敷地と300名を収容する教育キャンプ場・体育館・総合グラウンド・野外施設等を有している。豊かな緑と恵まれた自然環境の中で、野外活動や登山、オリエンテーリング、各種スポーツなどが体験できる最適の場である。

平成22年4月1日、「北毛青少年自然の家」に名称を変更した。

2 業務

北毛青少年自然の家は、青少年の自己啓発や望ましい人間関係に寄与するため、その機能を最大限に発揮し、青少年の社会連帯感の高揚、豊かな情操のかん養、心身ともに健全な青少年育成に努め、青少年のみならず多くの利用者の期待に応えている。

平成28年度実施事業

	事業名	事業の概要
1	入所学校利用説明会 【実施日】 4月14日(木)	入所希望学校を対象に、施設やフィールド、プログラムの理解を図るとともに、プログラミングについての研修を実施した。 【参加者】 学校教諭等 37人
2	ぐんまいいききチャレンジ 北毛フレンドリークラブ2016 【実施日】 ① 5月21日(土) ② 10月15日(土) ③ 12月3日(土) ④ 1月15日(土) 大雪のため中止	様々な要因により社会とうまく関われない青少年に対して、自然体験や生活体験・共同体験を通して心の居場所づくりを行った。また、様々な要因により社会とうまく関われない子どもを抱える親に対してはカウンセリングや情報交換等を行い心の安定を図るとともに親同士の交流を深めた。 ④は大雪のため中止 【参加者】 児童生徒 8人、保護者等 23人 【特記事項】 5月21日に第3回親の会総会開催。
3	青少年ボランティア養成 【実施日】 ① 6月25日(土)～26日(日) ② 7月16日(土)～17日(日) ③ 12月10日(土)～11日(日)	講義や演習等を通して、ボランティア活動の意義や留意点を学ぶとともに、地域社会の一員として積極的に社会貢献へ取り組もうとする青少年を育成することをねらいとして実施した。 【参加者】 大学生・社会人等 24人

4	青少年ボランティア体験 「夏休み高校生施設ボランティア」等 【実施日】夏季休業中等	夏季休業中の高校生にボランティア体験や社会参加の機会を提供し、主体性や社会性を育むことをねらいとして実施した。 【参加者】高校生等 延べ48人
5	宿泊自然活動体験 北毛キッズキャンプ 「ふれあい・感動・夢体験」 【実施日】 事前学習 7月17日(日) 本学習 8月4日(木) ～7日(日)	北毛の豊かな自然の中で、3泊4日の宿泊体験やキャンプ生活を通して、様々な体験活動や協働作業・共通体験をすることにより、子どもたちの社会性や生きる力の育成を図った。 【参加者】小・中学生 39人
6	自然の家オープンデー 「親と子の紅葉登山」 【実施日】10月22日(土)	初心者向けの親子登山。親子で紅葉の登山を楽しみながら、登山や自然の楽しさを味わうとともに、その留意点を学んだ。 【参加者】小学生とその家族等 40人
7	親子体験活動 ①親子キャンプ 【実施日】 9月24日(土)～25日(日) ②親と子の星空の夕べ 【実施日】 11月19日(土)～20日(日)	①初心者向けの親子キャンプ。野外炊事やテントの設営・撤収の基礎を習得し、テント泊を楽しみながら、親子の「ふれあい」を深めた。 【参加者】小学生とその家族等 20人 ②親子で望遠鏡を操作し星空観察をしながら、自然の神秘と偉大さを感じるとともに、科学に対する豊かな感性を育てるとともに、親子で協働作業や共通体験をすることにより、親子の「ふれあい」を深めることができた。 【参加者】小学生とその家族等 40人
8	自然体験活動推進 北毛ふれあい塾 【実施日】 ①12月10日(土) ②1月28日(土) ③2月4日(土) ④2月11日(土)	自然の豊かさや地域の人材を活用し、ふだんあまりできない体験を通して、子どもたちの居場所をつくとともに、心豊かでたくましい子どもを育成することをねらいとして実施した。 【参加者】①20人(餅つき) ②20人(スポーツ雪合戦) ③23人(棒巻きパン) ④22人(サンドブラスト)

第4節 妙義青少年自然の家

1 概況

妙義青少年自然の家は、昭和46年8月に「妙義少年自然の家」の名称で設置された。妙義荒船佐久高原国立公園内の名勝妙義山の山麓自然林(標高416m)の中に位置し、豊かな自然に囲まれ、四季を通して野鳥をはじめ多くの動植物の姿が見られる。近くには、日本三奇勝の一つに数えられる奇岩・怪石で知られている石門群、文化財豊富な妙義神社、45種5千本の桜の木で知られる「さくらの里」、妙義のゆかりある絵画を展示している「富岡市立妙義ふるさと美術館」や自然関連の特有な展示をしている「自然史博物館」などがある。

平成22年4月1日、「妙義青少年自然の家」に名称を変更した。

2 業務

自然に恵まれた環境の中で、少年たちに集団宿泊や野外活動を体験させ、体力づくり、創作活動、自然探索、奉仕活動などを通して情操や社会性が培われるよう取り組んでいる。

平成28年度実施事業

	事業名	事業の概要
1	利用学校指導者研修会 【実施日】 4月13日(水)	施設利用希望学校を対象に、野外活動や宿泊活動等に必要 な指導技術の研修を行った。 【参加者】利用学校指導者 39人
2	親子登山 【実施日】 ①4月16日(土) ②11月6日(日)	親と子で妙義登山を通して、青少年の健全育成を図るとと もに、親子のきずなを深めることができた。 【参加者】①83人(新緑の妙義登山) ②90人(妙義登山と紅葉狩り)

3	親子キャンプ 【実施日】 ① 8月27日(土)～28日(日) ② 9月3日(土)～4日(日)	親子でテント泊を体験し、沢遊びやドラム缶風呂を楽しむ活動を通して、親子のきずなを深めることができた。 【参加者】 ①28人 ②30人
4	青少年ボランティア養成 【実施日】 6月25日(土) ～26日(日)	講義や実技・討議などの研修を通して、地域社会の一員としてボランティアや社会貢献しようとする青少年を育成することをねらいとして実施した。 【参加者】 19人
5	青少年施設ボランティア体験 【実施日】 夏季休業中等	社会参加を促すために夏季休業中等を利用して施設ボランティア活動を実施した。 【参加者】 202人
6	妙義キッズ・アドベンチャー 「絆を深める4日間」 【実施日】 事前学習 7月10日(日) 本学習 8月6日(土) ～9日(火)	テント泊や野外炊事体験等、様々な体験活動を実施。リーダー役として、高校生や大学生に子どもたちと活動を共にしてもらい、ボランティアグループ等の協力を得て、グループの連帯感や他人を思いやる心などが育ち、子どもたちの成長する姿が見られた。 【参加者】 小学生 40人
7	ぐんまいいききチャレンジ 「妙義フレンドリークラブ」 【実施日】 ① 7月6日(水)～7日(木) ② 7月7日(火)～8日(金) ③ 7月12日(火)～13日(水) ④ 8月18日(木)～21日(日) ⑤ 10月6日(木)～7日(金) ⑥ 10月17日(月)	様々な要因で社会とうまく関われない青少年に自然体験や交流活動を通して生活に生きがいや目的意識を持たせることをねらいとして実施した。 事業参加をきっかけにして学校に徐々に登校できるようになったり、自分の生き方を考えるよい機会ができたという成果が得られた。 【参加者】 児童生徒 111人、保護者等 222人
8	群馬県民の日記念事業 自然の家オープンデー ～施設開放事業～ 【実施日】 10月23日(日)	地域で活動している郷土芸能や伝承遊び体験を提供したり、模擬店等を設置し、地域との交流や参加者相互の交流を深めることをねらいとして実施した。 【参加者】 277人
9	チャレンジ in 妙義 「鎖場チャレンジ登山」 【実施日】 12月3日(土)	妙義山の醍醐味である鎖場登山を通して、親子のきずなを深めることができた。 【参加者】 小学4年生以上の子どもとその保護者 19人
10	冬期ホリデー事業 【実施日】 ① 12月10日(土) ② 12月11日(日) ③ 1月21日(土) ④ 2月5日(日) ⑤ 2月11日(土)	冬期の施設利用促進と、冬の妙義山を体験してもらうため本事業を実施。各回特色ある活動を企画し、子どもから大人までの一般参加者や家族の参加を得て、交流を深めることができた。 【参加者】 ①38人(門松作りとおきりこみ作り) ②50人(門松作りとおきりこみ作り) ③23人(サンドブラスト) ④35人(バウムクーヘン作り) ⑤39人(焼まんじゅう作り) 合計185人

第5節 東毛青少年自然の家

1 概況

東毛青少年自然の家は、昭和54年11月に「東毛少年自然の家」の名称で開所した。大間々扇状地の中に分離丘陵として島状に連なる八王子丘陵のほぼ中央に位置し、アカマツ、コナラ、クヌギ林に囲まれた中にある。

八王子丘陵は、古生層をはじめ、金山流紋岩、藪塚凝灰岩などから構成されており、動植物の種類も多く自然観察に適している。近くには、茶臼山ハイキングコース、スネークセンター、石切り場、北山・西山古墳、岩宿遺跡などの学習環境にも恵まれ、多くの団体が利用している。

平成22年4月1日、「東毛青少年自然の家」に名称を変更した。

2 業務

平成28年度実施事業

	事業名	事業の概要
1	利用団体指導者研修会 【実施日】 ① 4月13日(水) ② 7月21日(木)	講義や実習を通して、利用団体引率指導者の資質向上と効果的な施設利用を促進することをねらいとして実施した。 【参加者】 28年度利用予定団体指導者 ①86人 ②53人
2	青少年ボランティア養成 「ボランティア養成」 【実施日】 7月2日(土)～3日(日)	講義や実技を通して、地域におけるボランティアの意義や心構えを学ぶとともに施設ボランティアを養成することをねらいとして実施した。 【参加者】 23人
3	キッズサマーキャンプin東毛 【実施日】 事前学習 7月24日(日) 本学習 8月4日(木) ～7日(日)	テント泊や野外炊事等の生活体験活動、登山等の自然体験活動を通して、子どもたちに社会性や自主性を培うことをねらいとして実施した。 【参加者】 小・中学生 37名
4	青少年ボランティア体験 「高校生等施設ボランティア」 【実施日】 7月～3月の土日祝日 長期休業中等	青少年に主催事業や入所団体活動支援、施設環境整備等、ボランティア体験の機会と場を提供し、主体性や社会性を育むことをねらいとして実施した。 【参加者】 239人
5	「親子キャンプ」① 【実施日】 8月27日(土)～28日(日) 「親子キャンプ」② 【実施日】 9月3日(土)～4日(日)	キャンプ体験初心者の親子を対象に、野営や野外炊事などのアウトドア体験活動を実施することで、保護者の野外活動に関するスキルアップを図るとともに、親子のふれあいやきずなを深める一助とすることをねらいとして実施した。 【参加者】 ①親子 29人 ②親子 35人
6	青少年自立支援 「ぐんまいきいきチャレンジ」 【実施日】 ① 4月11日(火)～13日(木) ② 9月17日(土) ③ 9月30日(金) ④ 10月2日(土) ⑤ 10月9日(土)～10日(日) ⑥ 11月17日(木) ⑦ 12月8日(木) ⑧ 12月26日(月) ⑨ 2月25日(土)～26日(日) ⑩ 2月28日(月)	様々な要因で社会(主として学校)とうまく関わることができない青少年を対象に、種々の活動等を体験させることで、社会生活への適応力を育むことをねらいとして実施した。 【参加者】 225人(参加児童生徒102人・保護者等123人) 【特記事項】 適応指導教室、関係諸機関との連携を図った。
7	群馬県民の日記念事業 とうもうオープンデー 【実施日】 10月30日(日)	野外炊事やクラフト等の諸活動を通して、県民に自然体験活動のよさを普及、啓発することをねらいとして実施した。 【参加者】 県民(幼稚園児～一般・指導者) 400人
8	焼まんじゅうづくり 【実施日】 12月4日(日)	郷土の食文化である焼まんじゅうづくりを通して、県民に自然体験活動のよさを普及、啓発することをねらいとして実施した。 【参加者】 家族・一般 74人
9	もちつきとミニ門松づくり 【実施日】 12月11日(日)	伝統文化を体験することで、子どもの感受性や自主性を育てる。また、共同作業により、親子のきずなを一層深めることをねらいとして実施した。 【参加者】 親子 57人
10	石がま焼きピザづくり 【実施日】 2月12日(日)	ピザづくりを通して、親子・家族とのふれあいを深める。また、粉からピザをつくることを通して群馬の粉文化理解の一助とすることをねらいとして実施した。 【参加者】 家族・一般 78人